



プロジェクト名称

石垣島をもっと元気にするプロジェクト

プロジェクト活動概要

本プロジェクトは沖縄県石垣島のサンゴ礁保全を目的に活動している。

対象地である石垣島は日本有数のサンゴの生息地であるが、現在、サンゴの死滅が深刻である。死滅の原因は地球温暖化やオニヒトデによる食害など様々である。それらの中でも本プロジェクトでは農地からの耕土流出問題に着目して活動を行う。

プロジェクトの立ち上げから活動内容に至るまで全て学生主体で計画・実行し、メンバーはシステム理工学部の学生 7 人（1 年 5 人、2 年 2 人）で構成されている。活動内容は、埼玉では週 1 回のミーティングや環境コンテストへの参加、また年に 2~3 回石垣島へ渡航し、現地調査やイベントを行っている。現地調査では、WWF しらほサンゴ村、石垣市観光協会、NPO 法人石西礁湖サンゴ礁基金、学校関係者、農業関係者、漁業関係者など、様々な人の支援のもと活動を行っている。

現在行っている活動は、意識啓発イベントの開催、小学校との活動、流出対策「緑肥」の調査・普及、の大きく 3 つである。将来的にはこれらの活動を継続して行い、私たち外部の人間が継続するのではなく、島民が継続できるようにシステムを確立することで、ゆくゆくは島民による自発的なサンゴ礁保全を目指す。

プロジェクト終了後に目標とする成果・結果 / その進捗

- ① 赤土流出防止対策のひまわり緑肥を普及させるために最低 3 件の農家と継続してひまわり緑肥を行い、ひまわりの作付面積を増加させる。
- ② サンゴ礁保全イベントの総動員数 400 人以上動員して多くの島民を巻き込んだ活動をする。
- ③ 宣伝活動やヒアリング、アンケート調査等でひまわり緑肥を行いやすい環境作りを目指す。具体的にはヒアリングやアンケートの集計人数を 500 人以上目指す。

目標に対する進捗について 300 字以内で記入

①についてだが、最低 3 件の農家と継続して行うとあるが、春植えや夏植えの関係から現在のところ、1 件の農家としかひまわり緑肥を行うことができない現状である。今後ひまわり緑肥を行いたいという人を探していく考えである。継続して農家 3 件には今のところいないのが現状だが今回行う農地が前回よりも広いのでひまわりの作付面積は昨年度より増加できると考える。

②については来年の 2 月にイベントを開催する予定である。宣伝方法として、チラシを作る、SNS に投稿するなど様々な案が出ているので、それを実行することで、イベント総数も増加すると考える。また石垣島の農政課や観光協会とも協力して行っていくので、自分たちだけでは集められない年齢層も参加が見込まれると考えている。



③については、今年の2月・3月の1週間を使い私たちが作成中のアンケートを島民に配布する予定である。回収は8月の渡航になると考えられます。

活動状況報告&活動写真など

活動期間：2016年10月1日～12月31日

12月の主な活動は全国大学生環境コンテストへの参加である。本プロジェクトは今年で7年連続、7度目の参加となった。この環境コンテストは、全国から環境活動をしている団体が集まり、活動報告や一年間を振り返り、他団体との交流を通して、自団体の活動をよりよくしていくことが目的である。

メインイベントとしては各団体の活動報告があり、25団体の中からグループ選考、グループ選考を1位で突破した団体が最終選考に進み、グランプリ、準グランプリ、会場賞を、入賞と順位がつけられる。私たちは、予選2位で惜しくも最終選考に進むことはできませんでした。しかし、ここまでメンバーと共に1つのものを作るという達成感や満足感は他では味わうことのできないものをだと考える。また、他大学との交流の中で、自分たちの活動を客観的に指摘していただいたことでさらに自分たちの活動をよりよいものにしていくことができた。



今後の活動計画、目標、意気込みなど

今年の活動として、2017年の2月・3月に石垣島に渡航して現地での活動を行う予定がある。この渡航の主な活動は3である。1つ目は、夏から準備してきたイベントを実施することである。このイベントは昨年度行ったイベントの反省を生かして準備してきた。内容として、サンゴ礁保全に関する授業、サンゴクイズ、赤土流出とは何か、最後に種まきを運動会形式で行う。2つ目に島民アンケートを実施することである。今まで自分たちが石垣島に必要なものを考え活動してきた。しかし、島民が何を本当は必要としているのかが、曖昧な部分が多かった。なので、今年の2月3月の活動では島民のニーズを調査していきたいと思っている。3つ目は、小学校環境教育である。実施するにあたり、企画書を提出しに行く。前から単発的には環境教育を実施することはできていたのだが、年間の授業スケジュールに組み込んでもらえるような企画を作っていくつもりである。

これらの活動は様々な方から支援や協力のもので成り立っている。企画内容は私たちが学校で行っている会議で決め、決まった内容は石垣島に方々にメールや電話で連絡を取り、話を進めてきている。大学生の私たちの活動に賛同して下さる方々に感謝してこれからも活動していく。

また、12月に開催された全国大学環境コンテストで頂いたアドバイス、先輩たちから学んだことを生かしてこれからも活動していく。